

平成 28 年度「三島市市民意識調査」調査結果の概要

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

1 調査方法

市民から単純無作為抽出した 20 歳以上の男女 2,000 人を対象として、郵送で調査。
有効回収数は 1,184 件、回収率は 59.2%で、27 年度より 0.4%増加しました。

2 調査の内容

【継続調査】

- ・「居住環境」について
- ・「市の取り組みの満足度」について
- ・「総合計画の指標に関する項目」について
- ・「自治会・町内会」について
- ・「幸福感」について
- ・「健康づくり」について
- ・「環境への取り組み」について
- ・「三島市広報活動」について
- ・「災害対策」について

【新規調査】

- ・「男女共同参画」について（新規調査）
- ・「文化的環境」について（新規調査）
- ・「楽寿園」について（新規調査）
- ・「公共スポーツ施設」について（新規調査）
- ・「障がいのある人への理解」について（新規調査）

3 平成 28 年度の結果の特徴

特徴 1 満足率は「居住環境」や「三島市への愛着率」が高くなっています。

(1)毎年高い満足率を得ているもの

三島の住みやすさや愛着度について、「住環境の満足率」89.3%（27 年度 88.2%）は、平成 15 年度の調査開始以降最高値。（満足率＝「満足」＋「やや満足」）

「三島市への愛着率」84.6%（27 年度 82.8%）も高率となっています。

愛着率(84.6%)＝「非常に愛着を感じる(39.8%)」＋「やや愛着を感じる(44.8%)」

(2)生活環境の満足率

「水のきれいさ」73.6%(前年度 74.3%)、「空気のさわやかさ」69.7%(前年度 70.8%)、「身近な緑や自然の量」62.6%(前年度 61.9%)が上位 3 項目となりました。なお、「景観（自然風景・まち並み）の美しさ」56.1%(前年度 55.2%)は、平成 19 年度の調査(42.6%)開始以降最高の満足率です。

特徴2 将来の三島市像については、健康、福祉、環境、歴史・文化などに引き続き期待が集まっています。

(1)三島市が将来どのような都市になったらよいか

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」が上位 2 項目となりましたが、経年では、下降傾向にあり、一方、3位の「歴史や文化を大切にされた風格ある都市」は上昇傾向となっています。また、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」が4.6%の大幅増は、本年4月の熊本地震の影響と推測されます。

三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

将来都市像		H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	31.3 (-2.6%)	33.9 (1位)	36.1 (1位)	33.8 (1位)	32.1 (1位)	①34.0 (+2.7%)
2位	自然や環境に優しい安らぎのある都市	16.2 (-1.0%)	17.2 (2位)	15.6 (2位)	19.1 (2位)	17.7 (2位)	②18.6 (+2.4%)
3位	歴史や文化を大切にされた風格のある都市	13.1 (+0.3%)	12.8 (3位)	11.2 (4位)	10.6 (4位)	12.6 (3位)	④9.7 (-3.4%)
4位	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	12.8 (+4.6%)	8.2 (5位)	12.4 (3位)	11.4 (3位)	12.0 (4位)	③16.1 (+3.3%)
5位	活発な産業・経済活動の盛んな活気に満ちた都市	6.9 (-2.1%)	9.0 (4位)	6.7 (5位)	6.8 (5位)	6.3 (7位)	⑤6.9 (0%)
6位	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	6.8 (+0.8%)	6.0 (7位)	5.6 (7位)	5.6 (7位)	7.9 (5位)	⑥6.1 (-0.7%)
7位	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	5.9 (-1.1%)	7.0 (6位)	6.4 (6位)	6.6 (6位)	7.4 (6位)	⑦5.9 (0%)

(2)将来の都市規模

「伊豆地域を代表する都市」との回答が36.1%となり、平成19年度以降初めて「現状のまま」を逆転する結果となりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、伊豆地域における三島市の中心的な役割への期待がうかがわれます。

将来の都市規模	28年度	(前年度)
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	36.1%	(34.5%)
現状のまま、人口11万人程度	33.8%	(35.1%)
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	14.3%	(14.6%)
人口20万人程度	9.1%	(8.6%)
人口70万人程度	4.4%	(4.5%)

特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」や「美しい景観の保全・形成」の満足率が高くなっています。

(1)満足率上位5項目

市の施策についての市民の満足率（充実度）は、「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。

(2)不満率上位5項目

例年上位の5項目は不動。ただし、「歩道」、「生活道路」、「にぎわい商業・商店街」では、歩道整備や街中の賑わいを反映し不満率が大幅に減少しています。一方、「バス等公共交通」は、全世代を通じて不満率が高く、「三島駅周辺整備」については、市民の関心の高さがうかがわれます。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率		分類	H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	69.4 (+8.5%)	60.9 (1位)	69.3 (1位)	64.6 (1位)		
2位	「広報みしま」による市政情報の提供	協働 行財政	59.6 (+6.3%)	53.3 (2位)	58.6 (2位)	55.6 (2位)	61.3 (1位)	②58.1 (-1.5%)
3位	美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	53.7 (+10.0%)	43.7 (5位)	48.0 (4位)	47.7 (3位)	46.6 (4位)	④41.8 (-11.9%)
4位	公園・水辺空間の整備	環境保全	49.2 (+5.0%)	44.2 (3位)	49.6 (3位)	47.0 (5位)	50.3 (2位)	③47.0 (-2.2%)
5位	健康診査、健康相談等の健康増進	健康福祉	45.3 (+2.3%)	43.0 (6位)	42.9 (6位)	41.2 (6位)	41.7 (5位)	⑤38.9 (-6.4)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別不満率		分類	H28 (前年比)	H27 (順位)	H26 (順位)	H25 (順位)	H24 (順位)	H23 (H28比)
1位	歩道の整備	都市基盤	38.4 (-3.8%)	42.2 (1位)	41.9 (1位)	44.7 (1位)	42.5 (1位)	②44.4 (+6.0%)
2位	バスなどの公共交通の充実	都市基盤	36.3 (+2.8%)	33.5 (3位)	35.7 (3位)	34.1 (5位)	33.6 (4位)	④36.6 (+0.3%)
3位	生活道路の整備	都市基盤	35.5 (-4.5%)	40.0 (2位)	37.4 (2位)	40.2 (2位)	38.6 (3位)	③39.8 (+4.3%)
4位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	34.7 (+1.8%)	32.9 (4位)	33.0 (5位)	36.7 (4位)	32.5 (5位)	⑤36.3 (+1.6%)
5位	にぎわいのある商業・商店街づくり	産業振興	27.1 (-3.3%)	30.4 (5位)	34.2 (4位)	39.8 (3位)	39.8 (2位)	①45.0 (+17.9%)

特徴4 市民の幸福感は、昨年度とほぼ同じです。

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。』の問いに対し、平均点6.80は昨年度(6.79%)とほぼ同値となりました。

幸福感平均点	平成28年度	平成27年度	平成26年度
幸福感平均点	6.80	6.79	6.72

幸福感を判断する際の重視事項は、平成26年度から変化していません。

- ①健康状況 ②家族関係 ③家計の状況 ④精神的なゆとり ⑤自由な時間

項目		H28 (前年比)	H27	H26	H25	H24 (H28比)
1位	健康状況	62.8 (+1.8%)	61.0	60.7	60.4	60.2 (-2.6%)
2位	家族関係	55.9 (+1.9%)	54.0	58.6	57.0	59.8 (+3.9%)
3位	家計の状況	50.6 (+0.5%)	50.1	50.7	50.9	52.0 (+1.4%)
4位	精神的なゆとり	41.3 (+4.2%)	37.1	44.2	42.4	39.2 (-2.1%)
5位	自由な時間	35.6 (+1.0%)	34.6	29.7	28.5 (6位)	⑦26.3 (-9.3%)

平成28年度新規調査項目について

(1) 男女共同参画の機会の確保は

「男女が性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮する機会が確保されているか」に対し、思う派(21.8%)=「思う(4.1%)」+「どちらかといえばそう思う(17.7%)」、思わない派(27.5%)=「どちらかといえばそう思わない(16.7%)」+「思わない(10.8%)」の結果となった。一方で、女性の「思わない」が男性を下回っています。

	項目	割合(%)	男性(%)	女性(%)
1位	どちらとも言えない	26.4	27.6	25.7
2位	わからない	22.5	17.6	25.7
3位	どちらかといえばそう思う	17.7	19.4	16.7
4位	どちらかといえばそう思わない	16.7	16.0	17.5
5位	思わない	10.8	12.7	9.3
6位	思う	4.1	4.9	3.8
7位	無回答	1.8	1.9	1.4

(2) 三島市の文化的環境の満足度は

満足派(51.1%)=「満足(6.7%)」+「どちらかと言えば満足(44.4%)」、不満派(16.1%)=「満足していない(5.1%)」+「どちらかと言えば満足していない(11.0%)」となっています。

(3) 楽寿園のイベントについて

◎イベントへの参加

「ほとんどしない(70.7%)」に対し、「年に数回(20.4%)」、「無料イベントのみ(6.2%)」、「月1回以上(1.1%)」。
なお、年代別では30代のイベント参加が最も多く35.9%となっています。

◎開催してほしいイベント

20代から50代は「飲食系イベント」、また、60代以上は「花の展示会」が開催してほしいイベントとして最も多い回答率となっています。

(4) 公共スポーツ施設について

満足派(22.3%)=「満足(5.9%)」+「やや満足(16.4%)」、中立派54.4%、不満派(18.5%)=「不満(6.3%)」+「やや不満(6.3%)」となりました。また、旧市内・北上地区の満足派は錦田・中郷地区に比べ約6%上回り、不満派の割合は2~3%低くなっています。

(5) 障がいのある人について

◎理解が進んでいるか

進んでいる派(29.4%)=「非常に進んでいる(1.4%)」+「ある程度進んでいる(28.0%)」、進んでいない派(29.9%)=「あまり進んでいない(24.9%)」+「まったく進んでいない(5.0%)」のほぼ同率となりました。

◎障がいのある人、高齢者等に積極的に声をかけるか

「他がいない時は自分からかける(36.7%)」、「困っている人から声をかけられたら対応(29.8%)」、「積極的に自分からかける(24.2%)」となり、約90%が困っている人に声をかける回答をしています。特に何もしないは、全体の0.9%となりました。

三島市企画戦略部広報広聴課 市民生活相談センター

〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47

TEL. 055-983-2621 FAX. 055-983-2753 e-mail : soudan@city.mishima.shizuoka.jp